

質疑応答

質問者①：声掛けですが、スムーズに歩行している時には、お声掛けしない方がよいのでしょうか。

講師(森永氏)：私のケースですが、スムーズに歩いている時には声を掛けて欲しくありません。声を掛けて頂くことによって方向を失うこともあります。見守って頂ければよいと思います。

質問者②：歩行時の点字ブロックと盲導犬への頼り方について、どのようなバランスでしょうか。

講師(森永氏)：点字ブロックは方向を示してくれます。自分がどこへ進んでいるのか示してくれるので、安心なものです。また、盲導犬は危険個所をユーザーに知らせてくれるという役割があります。

質問者③：犬への指示は、どのような指示をされていますか。どれ位の種類の指示を犬は理解をしていますか。又、普段盲導犬とはどのようなスキンシップを取られていますか。

講師(森永氏)：この子が理解している言葉はかなりあると思いますが、数えたことはありません。私の行動を見て対応する部分もあります。この子は、今はこんなふうに静かにしていますが、遊んでいい時は思いっきり遊びます。例えば、ボール遊びや、タオルで引っ張りっこをするのが大好きです。

質問者④：利用者の利き手と、盲導犬が歩く側には決まり事はありますか。又、北海道、九州の盲導犬といった、地域によって盲導犬の性質に違いはありますか。

講師(久保氏)：11ある盲導犬育成団体の内、2団体は状況に応じて左右に持ち替えて歩きます。他の9団体は基本的には人の左側に犬がいます。どちらにしても電柱や溝など避けないといけないものがある方を犬が歩きます。また、11団体の内、8団体は繁殖に関するネットワークを組んで、繁殖を行っています。盲導犬の性質が地域的に特別な差があるということはないです。また、繁殖については海外とも協力をしています。

質問者⑤：雪が多い地域での特別な訓練を実施されているのでしょうか。

講師(久保氏)：積雪地域にある協会では行っているとは思いますが、関西盲導犬協会では特には行っていません。

質問者⑥：外出行動において、盲導犬及びご本人において、トイレはもっとこうあって欲しいというようなご意見はありますか。

講師(森永氏)：盲導犬には、腰にビニール袋をつけたベルトをつけて排泄するように訓練がされています。この方法を使って外出した時には多目的トイレを利用するなどして、周囲を汚さずに処理しています。多目的トイレを増やして頂くと助かりますし、普通のトイレも床面積をもっと広くして頂ければ助かります。

質問者⑦：点字ブロックは、線路に近いところに位置しているが、どのように感じますか。

講師(森永氏)：率直に申しますと、ホームの真ん中を歩きたいです。ホームの真ん中にはベンチや自販機、柱などがあるので、それは無理なことはわかります。ですが、何故これ以上進んだら落ちますというような、危険な位置の警告ブロックに沿って歩かないといけないのでしょうか。私たちは、欄干のない橋をいつも命がけで歩いているようなものなのです。